

認定番号：19 サポーター名：一般社団法人中部地域づくり協会

取組実績

① 防災講座の実施

年度を通して、愛知・岐阜県内の小・中学校、高校、大学、特別支援学校で児童・生徒・学生に対して、大雨から大切な命を守るため、VRによる浸水疑似体験・浸水疑似体験映像の視聴や、過去の災害などの学習、マイ・タイムラインの作成などを通して、事前の備えや早期避難などについて学ぶ防災講座を実施した。

防災講座の実施校数は、令和6年度実績が83校(小学校51校・中学校15校・高校10校・大学1校・特別支援学校6校)、受講児童・生徒・学生数は、約5,700人であった。また、9月以降、伊勢湾台風の記憶を風化させず伝承するため、AI語り部との対話を通し伊勢湾台風を学習できるシステムを制作し、防災講座で活用した。

【活動報告】

<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activity-report/disaster-prevention-lecture/>

【講座申込】

VRによる浸水疑似体験

<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activities/dsaster-prevention-lecture/>

防災講座の様子



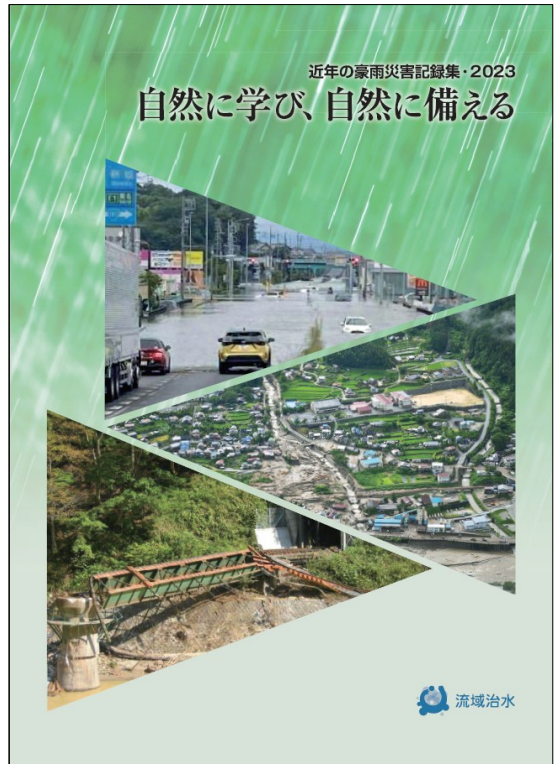
認定番号：19 サポーター名：一般社団法人中部地域づくり協会

取組実績

② 防災啓発冊子の配付

近年の豪雨災害を学ぶ防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」を5月に3,500部発行した。その冊子に流域治水を紹介するページを設け、三重四国連合総合水防演習を始めとする防災イベントや中部管内の国・自治体などの行政機関、図書館、高校、大学などに配布した。

(<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activities/heavy-rain-disaster-record-collection/>)



CONTENTS 目次

令和5年豪雨半島地震	北陸地方 2024年(令和6年)	03
令和4年南海地震	兵庫県 1944年(昭和19年)	08
濃尾地震	岐阜 濃尾地方 1891年(明治24年)	11
野付川台風	静岡県 1948年(昭和23年)	13
伊勢湾台風	岐阜 濃尾地方 1959年(昭和34年)	15
三六災害	岐阜 1961年(昭和36年)	17
昭和47年7月豪雨	岐阜 岐阜市 1972年(昭和47年)	19
七夕豪雨・水害	三重 津市 1974年(昭和49年)	21
9.12濃尾災害(伊八豪雨)	岐阜 岐阜市 三重 津市 1979年(昭和54年)	23
9.29濃尾災害	岐阜 1983年(昭和58年)	25
東海(度濃)豪雨	岐阜 岐阜市 2006年(平成18年)	27
秋前線・台風21号	三重 2004年(平成16年)	29
平成16年台風23号	岐阜 2004年(平成16年)	30
平成16年7月豪雨	岐阜 2006年(平成18年)	33
平成20年台風23号	岐阜 2008年(平成20年)	34
西濃豪雨	岐阜 三重 2008年(平成20年)	35
台風10号	岐阜 岐阜市 三重 津市 2009年(平成21年)	36
平成22年7.15豪雨前線豪雨	岐阜 岐阜市 2010年(平成22年)	37
平成22年台風9号	岐阜 2010年(平成22年)	38
台風12号	岐阜 岐阜市 三重 津市 2011年(平成23年)	39
台風15号	岐阜 岐阜市 三重 津市 2011年(平成23年)	41
台風18号・梅雨前線	岐阜 2014年(平成26年)	43
台風18号	岐阜 2014年(平成26年)	46
台風16号	三重 2014年(平成26年)	47
台風21号	三重 2017年(平成29年)	48
平成30年7月豪雨	岐阜 三重 岐阜市 2018年(平成30年)	49
令和元年東日本台風(台風19号)	岐阜 岐阜市 三重 津市 2019年(令和元年)	51
令和2年7月豪雨	岐阜 岐阜市 三重 津市 2020年(令和2年)	53
令和3年7月11日からの大雨	岐阜 岐阜市 三重 津市 2021年(令和3年)	55
令和3年8月11日からの大雨	岐阜 岐阜市 三重 津市 2021年(令和3年)	56
台風15号	岐阜 岐阜市 三重 津市 2022年(令和4年)	57
梅雨前線大雨と台風10号による大雨	岐阜 岐阜市 三重 津市 2022年(令和4年)	59
令和5年全県の主な水害		61
地震・大火等の大災害		63
災害とSneling		69
防災意識に起きた大規模浸水		81
たいせつな命を守るために		85
地域づくり技術研究所の取り組み		88
参考文献一覧		89

たいせつな命を守るために

流域治水プロジェクト

◆令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨や平成29年九州北部豪雨等、近年激甚な水害が頻発して来り、さらに、今後、気候変動による海面上昇の増大や水害の激甚化・頻発化が予測されています。

◆このような水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者の役割だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に自治体と協働して地域社会を構築する必要があります。

◆河川・下水道管理者等による治水に協力、参加する事業者(産 産協 商協 市町村 企業 住民等)により流域全体で行う治水「流域治水」へ参加するため、各一輪水害において「流域治水推進員」を募集し、流域全体で準備すべき対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定し、ハード・ソフト両面での事前防災対策の推進して進められています。

流域治水は by ALL

「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層推進させるとともに、さらに浸水域(雨水が河川に流入するエリア)から浸水域(河川等の浸襲により浸水が想定されるエリア)にわたる流域に関わる全員で水害対策を行う考えです。

対策の3つの柱

- ① 浸襲をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

流域治水プロジェクト2.0

◆気候変動の影響により、2040年頃には降雨量が約1.1倍、浸襲が1.2倍、洪水発生頻度が2倍に増加すると見込まれることを踏まえ、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、全国109の一輪水害で、気象変動を踏まえた河川及び浸襲での対策の対策を反映した流域治水プロジェクトの2.0に更新されています。

① 気候変動による降雨量増加に伴う水害リスク(浸水被害等)の増大を抑制する。
② ①に対応するため、本109を踏まえ、よりきびしい水害対策などの取組を推進し、浸襲被害を低減する(目標の達成)。
③ ①の目標を達成するために必要な追加対策等を構築する。

認定番号：19 サポーター名：一般社団法人中部地域づくり協会

取組実績

③ 防災イベント等における啓発

年度を通して、中部管内の防災イベント等に参加し、大雨における早期避難の大切さを伝えるため、VRによる浸水疑似体験・伊勢湾台風AI語り部との対話体験等を実施した。
令和6年度における防災イベント等の参加実績は37回、VRによる浸水疑似体験者数は約2,800名であった。

【活動報告】 (<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activity-report/disaster-drills-etc/>)

【浸水体感VR】 (<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activities/flooding-vr/>)

【伊勢湾台風AI語り部】 (<https://ckknet-kenkyujyo.jp/activities/isewan-kataribe/>)

防災イベント等の様子

国土交通省との連携



令和6年度 三重四川連合総合水防演習

地域との連携



かわらんべ 夏休みスペシャルDay



せき市民防災フェア2024



伊勢湾台風65年市民防災の集い

④ 一時避難所の設置

9事業所（沼津市・浜松市・豊橋市・名古屋市・桑名市・津市・岐阜市・多治見市・高山市）において、地域の自治会と協定を締結し、洪水時等の一時避難所として位置づけている。